



岡山県市町村総合事務組合の運営に関する条例の一部を改正する条例をここに公布する。

令和 8 年 5 月 18 日

岡山県市町村総合事務組合管理者 小倉 博俊



#### 岡山県市町村総合事務組合条例第 4 号

岡山県市町村総合事務組合の運営に関する条例の一部を改正する条例

岡山県市町村総合事務組合の運営に関する条例（平成 17 年岡山県市町村総合事務組合条例第 1 号）の一部を次のように改正する。

第 34 条の表学校医及び学校歯科医の補償基礎額の項中「7,285 円」を「7,640 円」に、「8,850 円」を「9,213 円」に、「10,768 円」を「11,138 円」に、「11,963 円」を「12,293 円」に、「12,625 円」を「13,163 円」に、「13,098 円」を「13,650 円」に改め、同表学校薬剤師の補償基礎額の項中「6,110 円」を「6,400 円」に、「7,045 円」を「7,333 円」に、「7,505 円」を「7,775 円」に、「8,623 円」を「8,750 円」に、「9,270 円」を「9,445 円」に、「9,620 円」を「9,838 円」に改める。

第 55 条及び第 142 条中「315,000 円」を「330,000 円」に改める。

#### 附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例による改正後の第 34 条第 1 項の表の規定は、令和 7 年 4 月 1 日以後に支給すべき事由が生じた公務災害補償並びに同日前に支給すべき事由が生じた傷病補償年金、障害補償年金及び遺族補償年金で同日以後の期間について支給すべきものの補償基礎額について適用し、その他の公務災害補償の補償基礎額については、なお従前の例による。
- 3 この条例による改正後の第 55 条及び第 142 条の規定は、令和 8 年 4 月 1 日以後に支給すべき事由が生じた葬祭補償について適用し、同日前に支給すべき事由が生じた葬祭補償については、なお従前の例による。

岡山県市町村総合事務組合の運営に関する条例の新旧対照表

新	旧																																										
<p>(学校医等の補償基礎額の特例)</p> <p><b>第 34 条</b> 当該組合市町村の設置する学校（学校教育法第 1 条に規定する学校をいう。）の非常勤の学校医，学校歯科医及び学校薬剤師（以下この章において「学校医等」という。）についての補償基礎額は，前条第 3 号の規定にかかわらず，死亡若しくは負傷の原因である事故が発生した日又は診断によって死亡の原因である疾病の発生が確定した日若しくは診断によって疾病の発生が確定した日（第 44 条第 5 項及び第 6 項並びに第 51 条第 6 項及び第 7 項において単に「事故発生日」という。）における次の表の上欄に掲げる当該学校医等のそれぞれ医師，歯科医師又は薬剤師としての経験年数に応じて，同表に掲げる額とする。</p> <table><tr><td>医師，歯科医又は薬剤師としての経験年数</td><td>5 年未満</td><td>5 年以上 10 年未満</td></tr><tr><td>学校医及び学校歯科医の補償基礎額</td><td><u>7, 640 円</u></td><td><u>9, 213 円</u></td></tr><tr><td>学校薬剤師の補償基礎額</td><td><u>6, 400 円</u></td><td><u>7, 333 円</u></td></tr></table> <table><tr><td>10 年以上 15 年未満</td><td>15 年以上 20 年未満</td><td>20 年以上 25 年未満</td><td>25 年以上</td></tr><tr><td><u>11, 138 円</u></td><td><u>12, 293 円</u></td><td><u>13, 163 円</u></td><td><u>13, 650 円</u></td></tr><tr><td><u>7, 775 円</u></td><td><u>8, 750 円</u></td><td><u>9, 445 円</u></td><td><u>9, 838 円</u></td></tr></table> <p>2 ～ 5 略</p> <p>(葬祭補償)</p> <p><b>第 55 条</b> 非常勤の職員等が公務上死亡し，又は通勤により死亡した場合においては，葬祭を行う者に対して，葬祭補償として，<u>330, 000 円</u>に補償基礎額の 30 倍に相当する額を加えた金額を支給する。ただし，その金額が補償基礎額の 60 倍に相当する金額に満たないときは，補償基礎額の 60 倍に相当する金額を支給する。</p>	医師，歯科医又は薬剤師としての経験年数	5 年未満	5 年以上 10 年未満	学校医及び学校歯科医の補償基礎額	<u>7, 640 円</u>	<u>9, 213 円</u>	学校薬剤師の補償基礎額	<u>6, 400 円</u>	<u>7, 333 円</u>	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上	<u>11, 138 円</u>	<u>12, 293 円</u>	<u>13, 163 円</u>	<u>13, 650 円</u>	<u>7, 775 円</u>	<u>8, 750 円</u>	<u>9, 445 円</u>	<u>9, 838 円</u>	<p>(学校医等の補償基礎額の特例)</p> <p><b>第 34 条</b> 当該組合市町村の設置する学校（学校教育法第 1 条に規定する学校をいう。）の非常勤の学校医，学校歯科医及び学校薬剤師（以下この章において「学校医等」という。）についての補償基礎額は，前条第 3 号の規定にかかわらず，死亡若しくは負傷の原因である事故が発生した日又は診断によって死亡の原因である疾病の発生が確定した日若しくは診断によって疾病の発生が確定した日（第 44 条第 5 項及び第 6 項並びに第 51 条第 6 項及び第 7 項において単に「事故発生日」という。）における次の表の上欄に掲げる当該学校医等のそれぞれ医師，歯科医師又は薬剤師としての経験年数に応じて，同表に掲げる額とする。</p> <table><tr><td>医師，歯科医又は薬剤師としての経験年数</td><td>5 年未満</td><td>5 年以上 10 年未満</td></tr><tr><td>学校医及び学校歯科医の補償基礎額</td><td><u>7, 285 円</u></td><td><u>8, 850 円</u></td></tr><tr><td>学校薬剤師の補償基礎額</td><td><u>6, 110 円</u></td><td><u>7, 045 円</u></td></tr></table> <table><tr><td>10 年以上 15 年未満</td><td>15 年以上 20 年未満</td><td>20 年以上 25 年未満</td><td>25 年以上</td></tr><tr><td><u>10, 768 円</u></td><td><u>11, 963 円</u></td><td><u>12, 625 円</u></td><td><u>13, 098 円</u></td></tr><tr><td><u>7, 505 円</u></td><td><u>8, 623 円</u></td><td><u>9, 270 円</u></td><td><u>9, 620 円</u></td></tr></table> <p>2 ～ 5 略</p> <p>(葬祭補償)</p> <p><b>第 55 条</b> 非常勤の職員等が公務上死亡し，又は通勤により死亡した場合においては，葬祭を行う者に対して，葬祭補償として，<u>315, 000 円</u>に補償基礎額の 30 倍に相当する額を加えた金額を支給する。ただし，その金額が補償基礎額の 60 倍に相当する金額に満たないときは，補償基礎額の 60 倍に相当する金額を支給する。</p>	医師，歯科医又は薬剤師としての経験年数	5 年未満	5 年以上 10 年未満	学校医及び学校歯科医の補償基礎額	<u>7, 285 円</u>	<u>8, 850 円</u>	学校薬剤師の補償基礎額	<u>6, 110 円</u>	<u>7, 045 円</u>	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上	<u>10, 768 円</u>	<u>11, 963 円</u>	<u>12, 625 円</u>	<u>13, 098 円</u>	<u>7, 505 円</u>	<u>8, 623 円</u>	<u>9, 270 円</u>	<u>9, 620 円</u>
医師，歯科医又は薬剤師としての経験年数	5 年未満	5 年以上 10 年未満																																									
学校医及び学校歯科医の補償基礎額	<u>7, 640 円</u>	<u>9, 213 円</u>																																									
学校薬剤師の補償基礎額	<u>6, 400 円</u>	<u>7, 333 円</u>																																									
10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上																																								
<u>11, 138 円</u>	<u>12, 293 円</u>	<u>13, 163 円</u>	<u>13, 650 円</u>																																								
<u>7, 775 円</u>	<u>8, 750 円</u>	<u>9, 445 円</u>	<u>9, 838 円</u>																																								
医師，歯科医又は薬剤師としての経験年数	5 年未満	5 年以上 10 年未満																																									
学校医及び学校歯科医の補償基礎額	<u>7, 285 円</u>	<u>8, 850 円</u>																																									
学校薬剤師の補償基礎額	<u>6, 110 円</u>	<u>7, 045 円</u>																																									
10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上																																								
<u>10, 768 円</u>	<u>11, 963 円</u>	<u>12, 625 円</u>	<u>13, 098 円</u>																																								
<u>7, 505 円</u>	<u>8, 623 円</u>	<u>9, 270 円</u>	<u>9, 620 円</u>																																								

(葬祭補償)

**第 142 条** 非常勤消防団員等が公務により，又は消防作業等に従事し，若しくは救急業務に協力し，又は応急措置の業務に従事したことにより，死亡した場合においては，組合は，葬祭補償として，葬祭を行う者に対して 330,000 円 に補償基礎額の 30 倍に相当する金額を加えた金額を支給する。ただし，その金額が補償基礎額の 60 倍に相当する額に満たないときは，当該 60 倍に相当する額を葬祭補償の額とする。

(葬祭補償)

**第 142 条** 非常勤消防団員等が公務により，又は消防作業等に従事し，若しくは救急業務に協力し，又は応急措置の業務に従事したことにより，死亡した場合においては，組合は，葬祭補償として，葬祭を行う者に対して 315,000 円 に補償基礎額の 30 倍に相当する金額を加えた金額を支給する。ただし，その金額が補償基礎額の 60 倍に相当する額に満たないときは，当該 60 倍に相当する額を葬祭補償の額とする。